

科目区分	専門教育科目	科目名	領域「言葉」の指導法		科目コード	19Y430	担当者	船勢 肇			
対象学生	幼児教育学科 1年生		学期区分	後期	単位数	2	担当形態	単独			
科目		施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	必修				
領域及び保育内容の指導法に関する科目		保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）				免許・資格要件	幼稚園教諭選択必修、保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
子どものことばの獲得方法、発達、およびそのための援助の仕方について学習する。						1. 「尽心」 誠実な人柄と 人間力	2. 「創造」 高度な知性と 創造力	3. 「実践」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・ 真摯性	② 多様性・ 協働性	③ 知識・ 技能	④ 表 現考 ・ 創 造 断 力	⑤ 実 主 体 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
1.	領域「言葉」の内容を理解する。										
2.	子どもの言葉の発達を理解する。										
3.	言葉の発達を促す保育環境の重要性を理解する。										
4.	言葉の発達を促す援助について考察する。					◎	◎	◎	◎	○	○
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						定期試験（40%） 提出物（60%）					
前半は講義、後半は演習を行う。演習においては講義の内容を踏まえ、各自が保育実践に臨む。											
課題等への対応						授業外学修時間					
授業後に質問する機会を設ける。また、授業中においても演習へのフォローを行う。						週あたり90分					
回数	授業計画					学習課題（予習・復習）					
第1回	授業説明、言葉とは何か					前期の講義の見直し					
第2回	領域「言葉」と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」					領域「言葉」と10の姿の復習					
第3回	領域「言葉」のねらいと内容、内容の取扱いについて					ねらいと内容、内容の取扱いの復習					
第4回	保育実践における評価と領域「言葉」					評価についての復習					
第5回	領域「言葉」と小学校教育の接続について					幼小連携についての報道に触れる					
第6回	保育指導案の立案と作成					遊びをイメージする					
第7回	保育指導案の立案と作成（情報機器の扱いを含む）					遊びを具体化させるための方法について考えてくる					
第8回	模擬保育の実践①					保育を実践する					
第9回	模擬保育の実践②					保育を実践する					
第10回	模擬保育の実践③					保育を実践する					
第11回	模擬保育の実践④					保育を実践する					
第12回	模擬保育の振り返り（映像で振り返る）					実践した保育で気づいた点をまとめる					
第13回	保育計画の評価と改善について					実践した保育について評価し、改善点を見出す					
第14回	現代社会と子どもを取り巻く領域「言葉」の課題					今日の保を領域「言葉」から考える上での材料集め					
第15回	子どもと言葉について考える					授業全体の振り返り					
試験	定期試験を実施する										
教科書	柴崎正行他編『保育内容「言葉」』ミネルヴァ書房				受講生への メッセージ	前期の子どもと言葉を踏まえて授業を進める。子どもの前での実践、授業中での発表等、人前に立つ機会が増える。講義内容をよく聞き、十分な実践準備（考案、制作、評価、反省）を行うこと。					
参考書 等	『幼稚園教育要領』、『保育所保育指針』、『認定こども園教育保育要領』										